

令和 4 年度 災害医療対策事業報告書

1 事業の実績

(1) 会議

① 船橋市地域災害医療対策会議 1 回

開催年月	主な内容
令和 5 年 3 月 23 日	<p><u>第 10 回 船橋市地域災害医療対策会議</u></p> <p>令和 4 年度の活動実績について 令和 5 年度の取り組みについて</p>

② 船橋市地域災害医療対策会議 作業部会 2 回

開催年月	主な内容
令和 4 年 8 月 8 日	<p><u>第 8 回 船橋市地域災害医療対策会議 作業部会</u></p> <p>議 題 1 災害医療対策本部にかかる内容について ① 災害医療対策本部の組織体制と業務概要</p> <p>議 題 2 病院前救護所にかかる内容について ① トリアージタグ及び災害診療記録について ② 災害時用処方箋について ③ 病院前救護所 指揮所の役割について ④ 入院受入調整及び搬送調整について ⑤ トリアージ黒の扱いについて</p>
令和 5 年 3 月 17 日	<p><u>第 9 回 船橋市地域災害医療対策会議 作業部会</u></p> <p>議 題 災害医療対策本部について ① 災害医療対策本部マニュアル「船橋市の災害医療対策（概要版 Ver. 1）（案）」について ② 災害医療対策本部設置・運営図上訓練の振り返り（令和 5 年 2 月 9 日実施） ③ 医療機関の状況把握に必要な情報について ④ 搬送・入院調整に必要な情報について</p> <p>報 告 発災後 48 時間以降の体制の検討状況 ① 医療提供体制について ② 保健活動体制について</p>

③災害医療協力病院及び保健所の意見交換会 1回

開催年月	主な内容
令和4年4月21日	<p><u>災害医療協力病院及び保健所の意見交換会</u></p> <p>市内9か所の災害医療協力病院の担当者と以下の内容について情報交換を実施した。また、意見交換会の冒頭には「もし船橋に首都直下地震が起こったら」の演題にて船橋市医師会災害医療担当理事より、講演をいただき喫緊の課題等について改めて共通認識を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の病院前救護所設置に係るマニュアル化の状況 ・保健所及び病院間で聞いてみたいことの情報交換

(2) 訓練

病院前救護所設置・運営訓練・・・2回

災害医療対策本部運営訓練・・・1回

その他訓練・・・・・・・・・・2回

開催年月	主な内容
令和4年5月～7月	<p><u>職員参集訓練</u></p> <p>保健所に勤務する全職員を対象として、非常参集時の参集場所まで実際に徒歩で（遠方在住者は指定駅から参集場所まで）向かう訓練を実施した。訓練後、各課管理職を含めた振り返りを実施した。</p>
令和4年10月15日	<p><u>船橋中央病院前救護所訓練</u></p> <p>トリアージポストを設置し、実参集者も含めたトリアージ（模擬患者24症例）による重症度の振り分け及び緑エリアでの受入れ訓練を実施した。</p> <p>参加者 船橋中央病院スタッフ：65人 医師会、歯科医師会、薬剤師会、千葉県柔道整復師会：4師会 合計16人 市内災害医療協力病院：4人 船橋市職員：18人 <u>のべ103人参加</u></p>
令和4年11月27日	<p><u>医療センターとの情報連携訓練</u></p> <p>総合防災訓練の中で医療センターとのMCA訓練を実施した。</p>

<p>令和5年2月9日</p>	<p><u>災害医療対策本部運営訓練</u></p> <p>本市に影響を及ぼす恐れのある大地震等の発生を想定し、①発災直後に立ち上がる災害医療対策本部の各班やその役割について理解する、②発災直後の業務として想定される、医療機関の情報を EMIS から収集し、共通理解を図る、③その情報を基に事案を分析・評価し対応が必要な場合はその対応方針を意思決定する流れを実践し、外部団体及び市職員が共通の認識を持つことを目標とする。</p> <p>上記目的を達成するため、3部構成で訓練を実施した。</p> <p>第1部 災害医療対策本部の担う役割についての説明 第2部 医療機関情報の収集訓練 第3部 ロールプレイング方式による災害医療対策本部、災害対策本部、避難所等の情報伝達連携及び事例対応訓練</p> <p>参加者 医師会、歯科医師会、薬剤師会、千葉県柔道整復師会 ：4師会 合計9人 船橋市職員：38人 <u>のべ47人参加</u></p>
<p>令和5年3月11日</p>	<p><u>東船橋病院前救護所訓練</u></p> <p>トリアージポストを設置し、実参集者も含めたトリアージ（模擬患者10症例）による重症度の振り分け後、各エリア（緑、黄、赤）での受入れ訓練を実施した。</p> <p>参加者 東船橋病院スタッフ：40人 医師会、歯科医師会、薬剤師会、千葉県柔道整復師会 ：4師会 合計9人 市内災害医療協力病院：8人 船橋市職員：15人 <u>のべ72人参加</u></p>

(3)研修等 2回

開催年月	主な内容
<p>令和4年10月21日</p>	<p><u>薬剤師スキルアップセミナー（第2回）</u> （後援：船橋市）</p> <p>船橋薬剤師会及び大塚製薬共催の薬剤師スキルアップセミナー（第2回）にて、市内の薬剤師を中心に、船橋市の災害医療対策について説明した。</p> <p>大塚製薬との包括連携協定に基づくセミナーとなっており、全3回を予定している。第1回目は令和3年11月に実施済み。</p> <p>参加者 46人</p>

令和4年12月17日	<p><u>まちづくり出前講座</u></p> <p>船橋市の災害医療体制について30分程度説明の後、質疑応答 小室第一自治会にて実施</p> <p>参加者 12人</p>
------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

2 検討事項及び成果

カテゴリー	主な内容 及び 成果
災害医療対策本部 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ① 本部の組織体制についての検討 ② 情報共有の流れについての検討 ③ ①②の検討結果も含め、「船橋市の災害医療対策（概要版）」（案）を作成した。 ④ 「船橋市の災害医療対策（概要版）」（案）の組織体制に基づき、災害医療対策本部運営訓練を実施し、振り返りを行った。
病院前救護所 に関すること	<ul style="list-style-type: none"> ① 船橋市地域災害医療対策会議でも議題とされていた、参集者名簿を作成し、各病院へ周知を行った。併せて、年度末に更新作業をすることとして、現在、各師会に更新をお願いしている。 ② 病院前救護所で活動する上で、具体的なルール作りや様式の検討 主なものとして、使用するカルテの様式・災害用処方箋の様式・ 指揮所の役割の整理・入院受入調整や搬送調整のルールの整理、 トリアージ黒の扱いについて ③ ②事項について、船橋市地域災害医療対策会議作業部会にて検討し、「病院前救護所運営マニュアル」として作成、災害医療協力病院へ周知を行った。 ④ 病院前救護所設置・運営訓練について、当初計画では令和4年度3病院、令和5年度3病院で実施し、全9病院での訓練を終える予定であったが、コロナの影響により令和4年度は2病院での実施となった。次年度に4病院での実施とすることで当初計画のとおりを令和5年度での訓練終了を検討。
発災後48時間以降の体制に関する こと	<ul style="list-style-type: none"> ① 発災後48時間以降の医療提供体制についてどのようにすべきかについて、来年度検討を行うための課題を整理した。 ② 発災後48時間以降の保健活動体制について、現時点でわかっている課題について整理した。